

キャリア・パスポート活用事例

これから紹介する「キャリア・パスポート活用事例」は主に、異学年間や異校種間のつながりを意識した場面での活用を想定した事例となっております。

文部科学省の『キャリア・パスポート（例示資料）』を基に作成しており、小学校の低学年・中学年・5年生・6年生、中学校（3年生）及び高等学校（3年生）の活用事例で構成されております。また、参考資料として独自の実践例として活用された「高等学校（1年生）」を加え、小学校から高等学校まで活用できるよう作成しております。

この「キャリア・パスポート活用事例」は小・中・高を通して系統的に指導する際に重要な点については赤字で説明しております。また、どの学年も実施時期を学年末と想定しており、次年度に進級や進学をした児童生徒が新年度の目標を考える手がかりとしたり、これまでの成長を振り返ったりすることができます。

活用に際しては、文部科学省の『キャリア・パスポート（例示資料）』と併せて御覧ください。

活用事例

1 小学校（低学年）

2 小学校（中学年）

3 小学校（5年生）

4 小学校（6年生）

5 中学校（3年生）

6 高等学校（3年生）

※参考 高等学校（1年生）